

7月29日-8月4日

## 詩編 69 編

13 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 滝 秀貞 | 田中 克彦

### 神の言葉の宝



1. 詩編 69 編のイエスに関する預言はどのように実現したか (10分) 米山 英行

不当にも憎まれる。(詩 69:4。ヨハ 15:24, 25。塔 11 8/15 11 ページ 17 節)

エホバの家に対して熱い思いを持っている。(詩 69:9。ヨハ 2:13-17。塔 10 12/15 8 ページ 7-8 節)

感情的に苦しみ、胆汁を混ぜたぶどう酒が与えられる。(詩 69:20, 21。マタ 27:34。ルカ 22:44。ヨハ 19:34。目 95 10/22 31 ページ 4 節。洞-2 319)

じっくり考えてみよう エホバがメシアに関する預言をヘブライ語聖書に含めたのはなぜか。

2. 宝石を探し出す (10分) 伊藤 勇一

詩 69:30, 31 私は神の名を賛美して歌い、感謝しながら神をあがめる。31 エホバはそれを喜んでくださる。犠牲の雄牛よりも、角とひづめがある若い雄牛よりも。

どうすればもっと良い祈りができるか。(塔 99 1/15 18 ページ 11 節) 多くの人は何かを願い求めるときにだけ祈りますが、わたしたちはエホバ神への愛に促されて、個人的な祈りの中でも公の祈りの中でも感謝と賛美をささげるべきです。パウロはこう書いています。「何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(\*請願)を神に知っていただくようにしましょう。7 そうすれば、神からの平和が、キリスト・イエスを通して皆さんの心と考え(\*知力)を守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています」。(フィリピ 4:6, 7 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願い(\*請願)を神に知っていただくようにしましょう。7 そうすれば、神からの平和が、キ

リスト・イエスを通して皆さんの心と考え(\*知力)を守ります。その平和は人間の理解をはるかに超えています) そう  
です、祈願と請願だけでなく、**霊的また物質的な祝福**を与えてくださる**エホバに感謝を言い表わ**  
**すこともすべき**なのです。(箴言 10:22 エホバの祝福が人を富ませる。それに痛み(\*悲しみ/苦しみ)は伴わな  
い) 詩編作者は、「**感謝の気持ちを神への犠牲**とし、至高者への**誓約を果たせ**」と歌いました。  
(詩編 50:14 感謝の気持ちを神への犠牲とし、至高者への誓約を果たせ) また、祈りのこもったダビデの調  
べには、「私は**神の名を賛美して歌い、感謝しながら神をあがめる**」という**感動的な言葉**が含ま  
れていました。(詩編 69:30 私は神の名を賛美して歌い、感謝しながら神をあがめる) わたしたちも**公の**  
**祈り**や**個人的な祈り**の中で**同じようにすべき**ではないでしょうか。

**今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。** (69:22-23) はパウロがロマ 11:9-10 でメシアを退け  
た生来のイスラエル人を非難するために引用した聖句で、パウロが如何にヘブライ語聖書に精通  
していたかが分かる。私たちも聖書の一つ一つの言葉を愛し、宣教でどのように活用できるかを  
黙想していきたい。

3. 聖書朗読 (4分) 詩 69:1-25 (教励 第2課) 星 拓哉

## 野外奉仕に励む

4. 辛抱強く: イエスの手本 有川 聖七

(7分) 討議。 [動画を再生する](#)。 [愛込 レッスン 8 ポイント 1-2](#) を話し合う。

5. 辛抱強く: イエスに見習う 竹林 直毅

(8分) [愛込 レッスン 8 ポイント 3-5](#), 「[参考になる他の聖句](#)」に基づく討議。

## クリスチャンとして生活する

### [134 番の歌](#)

6. 会衆の必要 (5分) 有田 悟

7. 家族の崇拝のためのアドバイス (10分) 討議。 大谷 正



2009年1月から、会衆の書籍研究は神権宣教学校や奉仕会と統合され、週日の集会が1つになりました。それで毎週、ある晩を家族の崇拝に充てることができるようになりました。おかげでエホバへの信仰と家族の絆が強くなったと多くの人が感じています。（申 6:6, 7 私が今日命じるこれらの言葉があなたの心に入っていなければなりません。7 あなたはその言葉を自分の子にしっかり教え(\*繰り返し言い/銘記させ)、家で座るときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときもそれについて話さなければなりません）

家族の崇拝をより良いものとするためにどんなことができますか。

- ・定期的に行う。できれば曜日と時間を決めましょう。予備日も決めておきます。
- ・準備する。家族の崇拝でどんなことをしたいか、夫婦で話し合いましょう。時々子供のリクエストを聞くこともできます。定番のプロジェクトがあるなら、毎回手の込んだ準備をしなくてもよいでしょう。
- ・家族に合った内容にする。子供の能力や必要とすることは、成長と共に変化していきます。家族一人一人の信仰が強まるような内容にしましょう。
- ・リラックスできる温かい雰囲気にする。天気の良い日は外で行うのもよいでしょう。休憩を挟むこともできます。問題に対処する方法について話し合う場合も、注意したり怒ったりする時間にしないようにしましょう。
- ・変化を付ける。例えば、集会の予習、jw.org の動画の視聴、伝道の練習などを組み合わせることができます。みんなで話し合うのが家族の崇拝の基本的なスタイルですが、個人研究を行う時間を含めることもできるでしょう。

次の質問をする。Q.ここに挙げられているアドバイスの中で、特に努力してきた点がありますか  
A. 週中の早めの曜日に設定し、忙しくてもできない週がないようにする。

8. 会衆の聖書研究（30分） 徹 13 章 8-16 節、105 ページ囲み 星 延宏 朗読：長谷川 瑛一

閉会の言葉（3分） | 114 番の歌と祈り 田中 慶一

^ (詩 69:0-36) 指揮者へ。「ユリ」に合わせて。ダビデによる。69 神よ、救ってください。水にのまれて死にそうだからです。2 私は深い泥の中に沈んだ。立てる場所はない。深い水にはまり、激流に押し流された。3 私は叫び続けて疲れ果てた。喉はかれ、目は神を待って衰えた。4 不当にも私を憎む人は、私の髪の毛よりも多い。私を殺そうとする人、不誠実な敵\*は多くなった。私は盗んでいないものを返すよう強要された。5 神よ、あなたは私の愚かさを知っています。私の罪はあなたから隠されていません。6 主権者である主、大軍を率いるエホバ、希望を抱いてあなたを待つ人が、私のせいで恥をかきませんように。イスラエルの神、あなたに導きを求める人が、私のせいで辱められませんように。7 あなたのために私は恥辱を受け、屈辱が私の顔を覆う。8 私は兄弟にとってよそ者となり、母の子たちにとって外国人となった。9 あなたの家に対する熱い思いを抑え切れなかった。あなたを非難する人たちの非難が私に降り掛かった。10 私は腰を低くして\*断食し、そのせいで非難を受けた。11 粗布をまとった時、人々から軽蔑の的とされた。12 町の門の所に座る人たちは私のうわさをし、酔っぱらいは私のことを歌にする。13